



きままに川柳

お題「車」

お便り日和

テーマ「泣いちゃった」

悲しみの涙と嬉し涙

昔はヤングママ

37年前の夏、私は一生涯分の涙を流したかも知れない。元氣一杯だった1歳の長男が少し前から「抱っこ」とせがむようになり、突然40度近い高熱を出す。びっくりして近くの医院へ連れて行ったら大病院への紹介状をいただく。そこで、今の医学では不治の病であると告げられ2カ月の入院。小さな体に毎日注射されるたび、涙が溢れ出て心が折れそうになった。長男は今、病気を抱えながらも都会で一人暮らし。元氣に働いている。

緩い涙腺

穴雪夫(土岐津町)

先日、2人の娘と姉妹愛をテーマにしたアニメーション映画を観ました。つい映画の世界に入り込んでしまい、娘たちが横にいるにも関わらず、号泣してしまいました。また、この間は自宅で、余命宣告された妊婦のドラマを最後まで泣きながら観てしまいました。家族の前で泣いてしまう恥ずかしさを感じつつも、「今度は何で泣こうか」とレンタルビデオ店へ足を運んでしまう40男の話でした。

泣いちゃった

のり(下石町)

スポーツ系のドキュメンタリー番組に弱いです。目標に到達するまでの苦悩、つらい練習を乗り越える姿、そして最高の結果を手にした瞬間、また結果を出せなかった時の悔しさなど。それまでの経緯や、一つ一つの真剣な表情に、つい感情移入してしまいます。

涙の理由

T・M(肥田町)

ふと見た広報に「泣いちゃった」のテーマ。投稿するつもりはなかったが、「自分は最近何で泣いたのだろうか」と考えてみた。この歳になるとあまり泣くこともないので、なかなか思い出せなかった。数日してお笑いのテレビを見ていて思い出した。「そうだ、先週、この番組を見ていて、笑い過ぎて涙が出たときだ！」



渋滞を避けて裏道行き止まり
押し車クルマを避ける丸い肩
夏祭り幼な浴衣風車
墓参兼ね二台連ねて車旅
旅に出て車窓景色に胸はずみ
暑い程握るハンドル引きしめて
背延びした暮らしをせめる火の車
幼子に未来を託す肩車

月丘夢子
マスお
かずえ
丹羽つね代
ラン
ジョージ
小阪千枝子
足立昌代

10月1日号の投稿募集

お便りテーマは「私の健康法」です。健康はお金では買えない、とよく言いますが、あなたはどのようにして健康を維持していますか。200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「運動」です。
(1人1句)

締め切りは9月18日(木)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎541111(内線185) / FAX 557763

✉koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。